

土木工事積算業務委託照査チェックリスト【照査技術者用】

資料-12

(設計書番号)	-	-
(施工年度)	平成	年度
(工事番号)	第	号
(工事名)	工 事	
(照査技術者)		

(3-1)

項 目	主 な 内 容	照査結果	備 考
1. 全 般	<p>積算業務に使用した図書の適用年月日はいつか</p> <p><input type="checkbox"/>土木工事標準積算基準書〔平成__年__月__日〕</p> <p><input type="checkbox"/>設計単価表〔平成__年__月__日〕</p> <p><input type="checkbox"/>その他(_____)〔平成__年__月__日〕</p> <p><input type="checkbox"/>現場調査を行い、現地を把握したか</p> <p><input type="checkbox"/>積算作業において、情報セキュリティは確実に確保されたか</p>		
2. 設計書表紙 【入力画面】 鏡(1)	<p>記載内容に入力ミスはないか</p> <p><input type="checkbox"/>施工年度〔平成__年度〕 <input type="checkbox"/>工事番号〔____第____号〕</p> <p><input type="checkbox"/>路線名(河川名)〔____〕</p> <p><input type="checkbox"/>工事名〔____工事〕</p> <p><input type="checkbox"/>施工地内〔青森県____大字____地内〕</p> <p><input type="checkbox"/>工期〔____日〕〔平成__年__月__日まで〕</p>		
3. 工事総括表 【入力画面】 鏡(2)	<p>概要コードの選択、数量・単位は適正か</p> <p><input type="checkbox"/>概要コードの選択〔<input type="checkbox"/>延長 <input type="checkbox"/>数量 <input type="checkbox"/>面積 <input type="checkbox"/>橋長 <input type="checkbox"/>堤長〕</p> <p><input type="checkbox"/>数量〔____〕 <input type="checkbox"/>単位〔____〕</p> <p>取り込まれた工事概要、数量・単位は適正か</p> <p><input type="checkbox"/>工種名称 <input type="checkbox"/>規格 <input type="checkbox"/>数量 <input type="checkbox"/>単位</p>		
4. 積算情報 【入力画面】 鏡(1)	<p>積算条件は適正か</p> <p><input type="checkbox"/>適用世代〔平成__年__月__日〕 <input type="checkbox"/>単価地区〔____〕</p> <p><input type="checkbox"/>諸経費工種区分〔____工事〕</p> <p>*2以上の工事区分(内訳書レベル1)からなる工事の場合、 最も金額の大きい工種に設定されているか</p> <p><input type="checkbox"/>調整区分〔____〕 既定値：単独(調整なし)</p> <p>隣接工事、分割施工の場合、諸経費の調整を行う</p>		
【入力画面】 諸経費調整	<p>各種補正条件は適正か</p> <p><input type="checkbox"/>施工地域・工事場所区分〔____〕 既定値：4(地方部、交通等の影響なし) 現場管理費で補正</p> <p><input type="checkbox"/>除雪工事補正係数〔____〕 既定値：1.00(補正なし) 共通仮設費で補正</p> <p><input type="checkbox"/>現場管理費冬期率(補正率)〔____%〕 冬期率(%) = 11月~3月の工事期間/工期 補正率は自動計算</p> <p><input type="checkbox"/>現場管理費冬期補正率(自動計算)〔____%〕</p> <p><input type="checkbox"/>施工時期等補正率(自動計算)〔____%〕 *現場管理費補正率+緊急工事補正率 = 上限値2.00%</p> <p><input type="checkbox"/>緊急工事補正率〔____%〕 既定値：0.00% 現場管理費で補正</p> <p><input type="checkbox"/>一般管理費前払補正係数〔____%〕 既定値：1.00(35%を越え40%以下)</p> <p>■一時中止に係る日数・対象額・積上額 既定値：0 *当初設計では入力不要</p> <p><input type="checkbox"/>機械損料区分(豪雪割増)〔<input type="checkbox"/>一般 <input type="checkbox"/>A地区のみ〕 既定値：一般</p> <p><input type="checkbox"/>労務単価冬期歩掛補正率〔____%〕 既定値：0% *10月以降入札する工事で11月から3月までの冬期間が工期の 1/2を越える屋外工事を対象とする *施工単価毎に設定したものは、ここでは明示されない *参照(6. 施工単価)</p>		

項 目	主 な 内 容	照 査 結 果	備 考
	<input type="checkbox"/> 労務単価夜間補正、時間補正〔 ____ %〕 既定値：0% ＊施工単価において設定される		
	港湾関係の諸経費区分を選択した場合、入力項目は適正か <input type="checkbox"/> 海上輸送補正值〔 ____ 〕 既定値：なし <input type="checkbox"/> 船舶供用係数〔 ____ 〕 既定値：なし		
5. 本工事 【入力画面】 内訳書	<input type="checkbox"/> 数量集計表に記載されている工種はすべて計上されているか <input type="checkbox"/> 不要な項目・行はないか 各体系階層の記載内容は適正か <input type="checkbox"/> 工事区分（レベル1） 計上数量・単位は〔1式〕か <input type="checkbox"/> 工種（レベル2） 計上数量・単位は〔1式〕か <input type="checkbox"/> 種別（レベル3） 計上数量・単位は〔1式〕か ＊ただし、路体盛土・路床盛土については総量を m3で計上する <input type="checkbox"/> 細別（レベル4） 計上数量・単位は土木工事数量積算要領（案）等に掲載の 数値基準と一致しているか ただし、路体盛土・路床盛土については〔1式〕で計上する <input type="checkbox"/> 規格（レベル5） 構造の区分・材料の種類や規格・施工方法・使用機械の規格等、 正しく記載されているか（誤字等ないか） <input type="checkbox"/> 積算要素（レベル6） 計上数量は細別（レベル4）の数値の1位下位まで計上しているか ただし、設計数量が施工管理基準より小さくなる場合、 細別（レベル5）の設計表示数値としているか <input type="checkbox"/> 摘要欄		
6. 施工単価 （WBコード） 【入力画面】 内訳書 ＊設計書原本に も施工単価毎 にチェックす る	選択した施工単価は適用条件を満たしているか <input type="checkbox"/> 適用条件を満たしている 入力条件の数値入力、選択は適正か <input type="checkbox"/> 実数値（金額・数量） <input type="checkbox"/> 使用材料 <input type="checkbox"/> 施工規模 <input type="checkbox"/> 使施工機械（排出ガス対策型建設機械等） <input type="checkbox"/> 各種補正の有無 <input type="checkbox"/> 各生コンの特殊養生・割増額（現場管理費の冬期補正ありの場合） <input type="checkbox"/> 個別に適用世代を設定した場合、その世代は適正か 入力画面では単位欄の左上に〔D〕と表示される 積算情報には〔行個別指定あり〕と印字される 労務補正のある場合、入力値は適正か <input type="checkbox"/> 労務費調整係数（時間的制約の補正） 既定値：1.00 入力画面では単位欄の左上に〔R〕と表示される 設定した場合、積算情報(夜間補正・時間補正)に〔あり〕と印字 <input type="checkbox"/> 冬期歩掛補正率 入力画面では単位欄の左上に〔R〕と表示される 積算情報には鏡(1)で設定したものが印字されるが、個別に 設定した場合は印字されない		
7. 登録単価表 （Xコード） 【入力画面】 登録単価表 ＊設計書原本に も登録単価毎 にチェックす る	<input type="checkbox"/> 登録単価の採用根拠は適切か <input type="checkbox"/> 名称・規格は適切に明示しているか（誤字等ないか） <input type="checkbox"/> 公表単価を登録する場合は、公表用単価表記載の単価としているか ＊民間委託用積算システムではダミーの単価を使用しているため、 同システムの資材単価の検索機能を利用した単価は使用できない <input type="checkbox"/> 物価資料による場合、各々に掲載された価格の平均値としているか <input type="checkbox"/> 見積もりによる場合、発注者から提供された価格か ＊見積もり徴収、設計単価の決定は発注者による <input type="checkbox"/> 計上金額に誤りがないか <input type="checkbox"/> 登録の必要な単価の入力もれはないか <input type="checkbox"/> 不要な単価が登録されていないか		

項目	主な内容	照査結果	備考
8. 共通仮設費 【入力画面】 内訳書	積上計上を必要とする共通仮設費は適正に計上されているか *現場条件等を的確に把握し、必要額を適正に積上げる <input type="checkbox"/> 運搬費 <input type="checkbox"/> 準備費 <input type="checkbox"/> 事業損失費 <input type="checkbox"/> 安全費 <input type="checkbox"/> 役務費 <input type="checkbox"/> 技術管理費 <input type="checkbox"/> 営繕費		
9. 間接費 【入力画面】 内訳書	間接費（共通仮設費・現場管理費・一般管理費）の調整が必要な場合、間接費区分特殊コードの設定は適正か <input type="checkbox"/> 処分費等（再資源化施設受入費） 間接費区分の「T」または特殊コードの「#410」を選択・設定 <input type="checkbox"/> 桁購入費等 間接費区分の「1」または特殊コードの「#400」を選択・設定 <input type="checkbox"/> 支給品 特殊コードの「#201」を設定 <input type="checkbox"/> 上記以外に調整の必要なものについての選択・設定は適正か 〔 _____ 〕		
10. その他 入力データ に係るもの	<input type="checkbox"/> 主務課の設定は適切か 〔 _____ 課 〕 <input type="checkbox"/> 引渡し時消費税率の設定は適正か 〔 _____ % 〕 <input type="checkbox"/> イメージアップ経費を計上した場合、その工事は適用の要件を満たしているか 既定値：しない <input type="checkbox"/> 支給品で扱う桁購入費は適正か 〔 _____ 円 〕 既定値：0 <input checked="" type="checkbox"/> 請負金額（税込み） *当初設計では入力不要		
11. 特記仕様書 *特記仕様書原本にも各明示事項毎にチェックする	<input type="checkbox"/> 施工条件の明示事項欄に記入もれはないか <input type="checkbox"/> 指定仮設の場合、必要な構造寸法等を明示しているか <input type="checkbox"/> 部分指定仮設の場合、指定すべき条件のみを明示しているか <input type="checkbox"/> 工事数量総括表や図面に品質規格等が明示されていない材料についてその規格、仕様、使用条件等、適切に記載されているか <input type="checkbox"/> 提出を必要とする書類提出区分欄に適切に明示されているか		
12. 数量計算書 （数量総括表） *設計書原本に添付の数量計算書にもチェックする	<input type="checkbox"/> 数量計算表（数量総括表）は必要な修正等を行い、積算内容と整合がとれているか <input type="checkbox"/> 任意仮設の場合、数量総括表は〔1式〕と表示しているか		
13. 図面 *設計書原本の添付図面にもチェックする	<input type="checkbox"/> 必要な図面はすべて揃っているか <input type="checkbox"/> 図面と数量計算書は一致しているか <input type="checkbox"/> 指定仮設の場合、必要な構造寸法等を明示しているか <input type="checkbox"/> 部分指定仮設の場合、指定すべき条件のみを明示しているか <input type="checkbox"/> 該当工事箇所、部分を旗揚げ、着色しているか		

1. 項目欄の【入力画面】とは積算システムで各データを入力する時の画面
2. チェックした内容の□欄に✓チェックを行ってください。
3. 積算内容に適合しないものは-を記入してください。
4. 審査後は成果品として照査報告書に添付してください。
5. 設計書原本、特記仕様書、数量計算書、図面の該当する項目にも同様の✓チェックを行ってください。